

新役員紹介

コロナ禍であっても、未来を見据えて

2011年12月にハルナビバレッジに初めて伺った際、青木清志会長から「創業以来、特に気が付いたことはどこよりも少し早く、つまりパイオニアたれということです」とお聞きしました。

その後、青木麻生社長をはじめ皆さんと話をさせていただく中で、「過去にいくつかの経営危機があり今後もあるだろうけど、後向きではなく前向きにチャンスとしていきたい」とあり、「パイオニアたれ」が息づいていると感じました。

現在のコロナ禍のなかでも、事業活動を通じてのSDGs達成へ積極的に取り組まれておられますが、この取り組みこそ顧客や消費者と共創しハルナの未来を拓くものであり、私も企業と大学での経験を活かし貢献したいと考えています。



梅野匡俊 氏

〈プロフィール〉

1977年4月キリンビール入社、主に経営企画部門、マーケティング部門で勤務。マーケティング部副部長、横浜支社長、原料資材部長、三菱広報委員会部長。2010年4月～2021年3月、横浜国立大学国際社会科学研究院経営系、成長戦略研究センター客員教授。2020年12月、新潟県立大学国際産業経済研究センター客員教授（現職）。

新役員紹介

ピーター・トーマス 氏

〈プロフィール〉

NVMAD 創業者兼代表取締役社長
2015年1月～現在（6年1ヶ月）New York City Area
Hikari Miso International, Inc. 社外取締役
2015年1月～2020年12月
株式会社 ZOZO テクノロジーズ
Director of Global Expansion
2015年～2018年
Daymon Worldwide President & CEO,
Daymon Worldwide KK
(joint-venture with Aeon Co. Ltd.)2000年～2015年



「挑み続ける生き方」こそが 人間にとっていちばん大切な財産

私は10年前に代表取締役社長の青木麻生氏と飲料事業で知り合い、以来友人でありパートナーです。イオントップバリュチームのデモンワールドワイドの一員としてミネラルウォーター、お茶、スポーツドリンク、ジュース、炭酸飲料などのカテゴリーで多くの製品を共に発売していました。また、ハルナグループのビジネススクールではマーケティング、ブランディング、イノベーションについて、定期的に講師として登壇させていただいています。そしてこの度は、青木麻生氏から取締役会のメンバーへのご依頼をいただき、ハルナグループの事業の将来の成長と成功に直接貢献できることを大変光栄に思います。

ハルナグループの強みは、3つの分野に由来すると常に感じていました。それは people, plants and products です。この創造性と品質のノウハウのバランスから、会社の持続可能な競争上の優位性が生まれ、ビジネスパートナーに一貫して提供されます。私の好きな言葉の1つは、「挑み続ける生き方」です。これは、COVID-19で直面している課題にもかかわらず、明らかに挑み続け対応したハルナグループの経営とビジネススタイルを要約したものだと思います。2019年度の事業成績は、ハルナグループが5年連続で売上高と利益を伸ばし、前年比で7%増の4,800万ケースを達成するのに非常に貢献しました。私は20年間のキャリアの中で、南北アメリカ、ヨーロッパ、アジア、アフリカの30か国以上の大手小売業者や製造業者と協力してきました。ハルナグループの社外取締役として、マーケティング、ブランディング、イノベーションなどグローバルな視点を伴い、会社のSDGsの達成および短期・中期の目標、長期的なビジョンをサポートできることを楽しみにしています。